



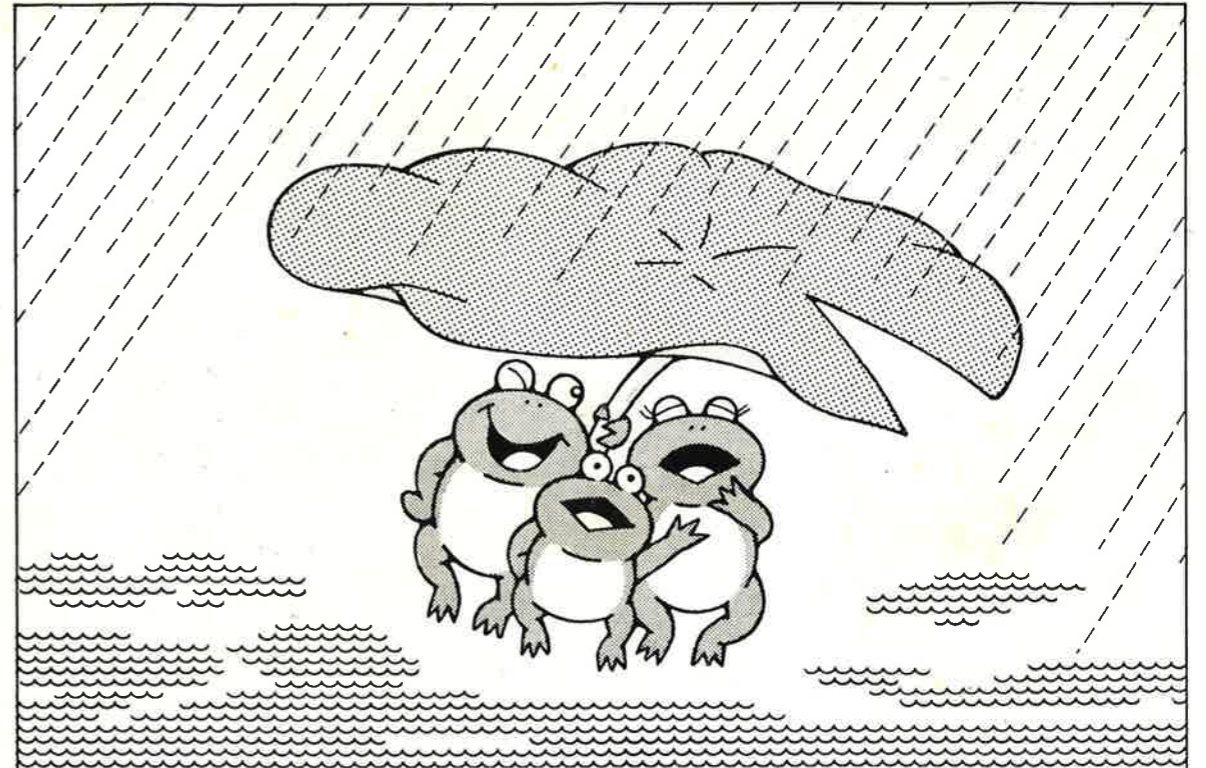
新校舎（運動会の開会式）

今月の特集

カラカス日本人学校



バスでの下校風景、学校の車2台と大型バス2台で約1時間の道のりを家路に急ぐことになります



わが家にかぶせるヘルメットはないのだから。
 私たちは、誰もが事故のない幸せな毎日を願っています。しかし、火災、傷害、交通事故など、現代は危険がいっぱい。まず事故を起さない心がけ、そして万一の時にあわてることのない確かな備えが必要です。東京海上は創業以来二世紀以上にわたる豊かな経験と実績を生かし、損害保険を通じてみなさまの大切な暮らしを守り続けています。

損害保険の東京海上
 東京海上火災保険株式会社
 〒100 東京都千代田区丸の内1-2-1
 TEL 03(212)6211



楽しいお弁当です



家庭科の調理実習



1年生のスペイン語の授業
今日はクリスマスカードを作りました



クラブ活動、みんな真剣です



父親参観日のレクリエーション



一年生の社会のお勉強、でんしゃごっこです



4年生の授業



2年生の楽しい音楽



中1の理科の授業



理科の野外学習(5年生)



運動会、「ソレ引け、ヤレ引け」父母の綱引き



運動会、大将どうしの一騎討ち



社会見学で
シモン・ボリーバルの博物館へ（3年生）



12月の恒例行事もちつき大会



全校でのマラソン大会



学習発表会



6年生の修学旅行、マラカイボ湖の油田を見ました

中学2、3年の修学旅行（ベネズエラ最大のグリ発電所前）

公文式は海外でも日本国内と同様の学習が続けられます。右に示した各都市の教室で、また、通信学習制度を利用すれば、世界のどこにいても公文式の指導を受けることができます。

現在、国内では100万人以上の子どもたちが学習している公文式。海外にいらしてもお子様の教育は安心して公文におまかせください。

だれでも算数が好きになる


くもん 公文式 算数・数学教室

● 公文式算数・数学教室に関するお問い合わせ先
〒102 東京都千代田区五番町3-1 五番町グランドビル
☎03(234)4401(代表) 公文数学研究会広報課K係
● 海外教室のある都市
ニューヨーク/ワシントンD.C./トロント/パリ/ミュンヘン
デュッセルドルフ/シュツットガルト/リオデジャネイロ
サンパウロ/ロンドリーナ/ビトリア/台北

くもん 海外でも学べる公文式 帰国してからも安心です。



個人別・学力別指導の

 公文数学研究会



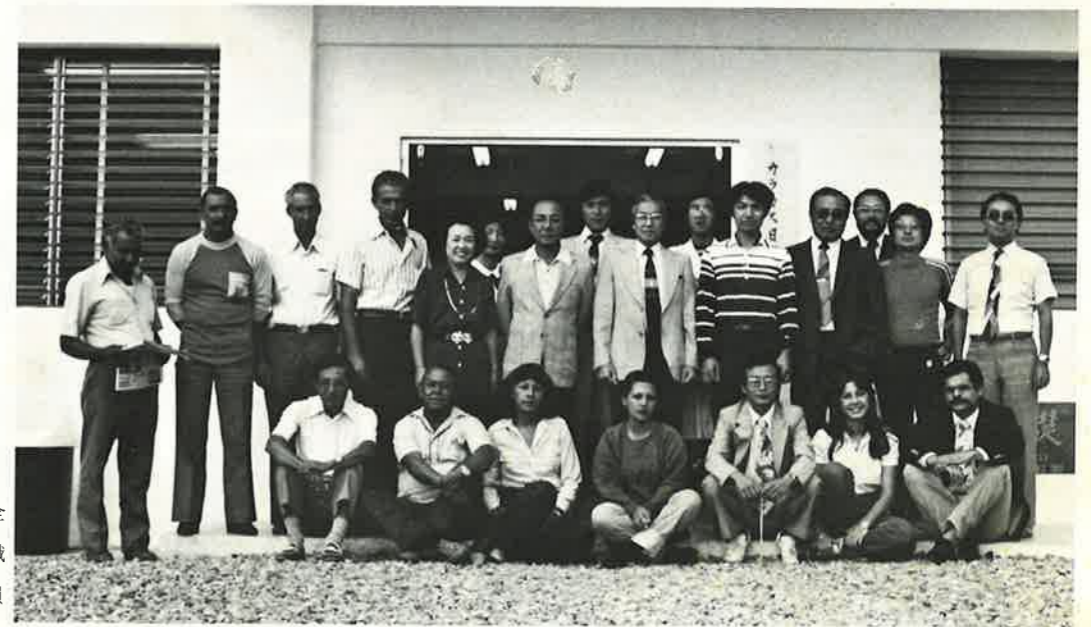
六年生の卒業式



小学1年生の入学式



中学1年生の入学式



全職員



今の特集 カラカス

かいかい 一折

帰郷録

私の海外勤務時代

海外子女教育ニュース

忍辱
第二の故郷・鈴村博判
日本人学校万歳・吉川幸男
父母会での会話・芹沢正行

☆文部省、新たに中学部を指定
校ほか三校 ☆京都大学法学部 特別選抜で帰国子女
15名が合格 ☆昭和57年度派遣教員事前研修会開催さ
る ☆外務省・領事第一課長の交替 ☆第27回青少年
読書感想文全国コンクール 海外校より二名が見事入
選 13

各地の動き (学校運営責任者の新旧交替)

ただ今何人!?

グラビア

現地あ・ら・かると
日本人学校シリーズ

(今月のベストセラー)

タイ国における国際理解教育の試み

文化的帰属感の形成と年齢(一)十四歳前後

アメリカでの生活を有意義にしたもの

登校拒否が心配の種・北川 正

教育相談室

〈昭和57年度帰国子女受け入れ校入試情報〉

〈第27回青少年読書感想文全国コンクール海外校入選

教師の声IIマドリッド日本人学校・中山福雄

海外っ子の声II松丸佳穂・中沢志乃・山口あき子・山

下泰広・溝口智子・内堀綾子・草島桂子

〈到着資料紹介〉
文芸コンクールから
ダイアリー・メモ お知らせ

研究レポート

えつらん室

寄稿

歳々年々

みんなの広場

句読点

目次

10 9

12

15 14

18 8

24

26

31

30

32

34

38

41

46

50

海外向引越荷物の発送はディーンにおまかせ下さい。

“お住いからお住い”まで
DOOR TO DOOR SERVICE

素晴らしく完璧な梱包と
EXCELLENT PACKING

確実な船積み、そしてより速く
ASSURED SHIPMENT & FASTER DELIVERY

世界の隅々までお届けする
NETWORK WORLDWIDE

Dean ディーン・インターナショナル(株)
〒232 横浜市中区翁町1-4-7 翁ビル3F ☎(045)662-7870



"I think it would look better on that side, don't you?"

国際人のあなたへ... 帰国児童(4~12才)の IES 特別英会話コース



長い海外生活の中で折角、身についた基礎的な英会話力/—日本の生活の中で無理なく維持し発展させるために組んだ特別プログラム。外人の先生がアメリカンスクールの生徒をアシスタントとして、教材も、教室も、お友だちも国際環境に包まれたレッスンです。

- 主なレッスン内容: Vocabulary・Aural skills
Pronunciation・Creativity・Group dynamics
- 教室所在地 ●IES東麻布教室(港区東麻布)
●調布アメリカンスクール(調布市野水)
●聖マリア・インターナショナル・スクール(世田谷区瀬田)
●アメリカン・スクール附属幼稚園教室(目黒区青葉台)
●横浜インターナショナル・スクール教室(横浜市中区山手町)
●クリスチャン・アカデミー教室(東久留米市新川町)

●お問合せ・お申込み先●

IES 国際教育システム
〒106 東京都港区東麻布2-6 タトルビル
☎(03)586-5331

●帰国児童・特別英会話教室は、自由に見学できます。お気軽にお申出ください。

IES子供英会話教室の特色...調布のアメリカンスクールを母体として、4年前に発足。現在、東京・横浜・神戸・札幌など9校のインターナショナルスクール(国際学校)より全面的な協力を得ています。基礎英会話教室では、歌やゲームを取り入れ、実生活に密着した英会話力が育ちます。

海外へ赴任されるあなたへ!

—家財はテラダのトランクルームにおまかせ下さい—



完全保管の寺田倉庫

3年、5年と長期にわたる海外勤務。置いて行かれた家財は年々いたんでいきます。

ところで、テラダのトランクルームは鉄筋コンクリート造り... (もちろん耐震・防災設備は完全)・温度・湿度をベストの状態に保った部屋で安全・確実にお預りしております。

虫もいません。ホコリもつきません。だから、お預りした時と同じ状態でお渡しできるのです。

美術品、高級衣類等個人の大切な財産をはじめ、文書・帳票・フィルム・磁気テープなど、企業の貴重な資料に至るまでご要望に応じて保管いたします。

寺田倉庫株式会社 トランクルーム 〒140 東京都品川区 東品川2-6-10 ☎03-471-1212(直通)



現地あ・ら・かると

ベネズエラの首都 カラカス

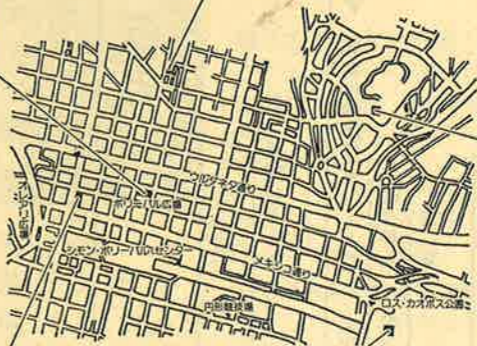


パンテオン
1744年に建築され、1874年5月27日当時のグスマン・ブランコ大統領により豊廟に決定された。中心に独立の父ボリーバルの霊が祀られており、他にフランス・テ・ミランタ、マーシャル・アントニオらの独立の英雄が祀られている。内部にはテイ・サラスの手によるボリーバルのエピソードを題材とした絵もある。



植民地博物館

植民地時代の美術品、工芸品の博物館。もともとボリーバルの親友トコ侯爵の住居であった。ボリーバルは当時カラカスを訪れた際、しばしばこの家に立ち寄った。噴水、植物などの美しい庭を有す家で、植民地時代のまま保存されている。1959年博物館となり、とくに17世紀から19世紀にかけての家具、美しいランプのコレクション、ベネズエラの工芸品が納められている。



自然科学博物館

メキシコ通りの終わるところ、ロス・カオボス公園の入口にある。ここにはベネズエラ国内はもとより、世界から集められたハ虫類、昆虫類、鳥類の大コレクションがある。また古代ベネズエラの陶器や他の様々なアメリカ古代文化の遺物の展示もある。



大寺院

ボリーバル広場の東側にある大寺院。1595年に建てられ、後1876年に再建された植民地スタイルの寺院で、カラカスの近代的建物とコントラストをなしている。内部は手工芸による木彫が見られ、またルーベンス、ムリーリョの絵がかざられている。現在の建物は地震により2度崩壊したのち再建されたもの。



国会議事堂

表紙写真

ブラサ・ポリーバル——ベネズエラ建国の父シモン・ポリーバル銅像のあるポリーバル広場。カラカスの中心街にあるが、市民の憩いの広場として親しまれ、みどりの樹間にとびかうリスと鳩の群に、日曜日は家族連れでにぎわう。後方に見える白い建物はカレドラル教会。
(写真提供 橋本貞夫)

表紙題字

今日出海

湖面に広がりあってこそその水の春で、湖尻が細るほどに溪は凍て残っていた。凍て映に沿って、凍て家並が寂然と現われた。平家の落人を自任する隠れ湯の宿であった。

野辺の春意に遠いもてなしは、なごりの落人の腕の証しの鹿の肉づくしだ。日本人と鹿の関わりは、源平争覇の時代をはるかに遡る。縄文時代の埴輪こそ猪が首座を占めたものの、弥生式土器に描かれた動物の数では鹿が逆転し、爾来、六世紀以降もこの角高牙低傾向が続いている。

このように、国の黎明期より数多の鹿の記録があるのは、この動物が人にとって、物心ともに極めて有用だったからだ。肉叢が食べられるばかりでなく、内臓総てが、食用か薬用として利用された。皮は衣覆にはじまり、鉄製の鎧や兜が出現すると、鉄片を綴じるのにこの皮からとった紐類が何よりの首尾だった。

骨や角も粉末にして薬用ともなったが、それより、日常の生活道具の素材として用途が広いうえ、武器としても特に角が刀剣の柄に重用され、鹿角刀装具と刻まれて、高級刀の証左とされてきた。物質の面ばかりではない。鹿の角を焼



き、罽の走り具合で吉凶を占う民俗も、弥生時代からのものとされている。利用価値がこれほど高い反面、農林業にとっては極めつきの害をなすこの動物のように神扱いする場合を除いて、いつの世でも狩猟の恰好の的とされてきた。そのため、野生種は年々減少し、棲息地も限られているから、いまだきの都会娘が、鹿といえはバックスキンの装身具ぐらいいしか連想出来ないのは詮もない。このバックを裏と解し、鹿皮の内側を表に出した製品のことも多いが、BACKで、鹿でも特に雄を指すのが本来だ。アメリカでは、独立戦争当の軍服に鹿皮が用いられたところから、バックスキンといえは兵隊の異称となっていた。一見可憐げなこの動物も、洋の東西ともに、かなり武張った来歴があるのだ。武張ったといえは、鹿で知られた古都の大寺のお水取りも、仏事としては、かなり武張り、荒ぶったものである。殊に修二会のお水取りの行は激しい。燃えさかる大松明を奉じて、練行衆が乱舞する達陀は「韃靼」で、この火はイランのゾロアスターの、正邪を峻別する

審判の聖火と同根、との認識がある。

天平の薨を照らす炎は中東の砂より発し、西域はるか長安に至り、仏縁に導かれて、東海の小島の南都に達したわけだ。唐代から西域一円は「胡」と括られている。東大寺に達陀の光明が伝わるに、白いアーリア胡僧の手を経たことやら…。

楼蘭で発掘されたミイラの美女が碧眼と推測されているように、仏法の道に胡僧の碧眼は珍しくなかったに違いない。ただ、碧眼胡僧と表すと達磨大師を特定する。この南印度のパラモン階級出身の高僧は、日本人と体毛や眼の色が違って当然なのに、我々が抱く大師像は鬚髯あくまで黒く、心願叶えば墨黒黒と眼を入れる不倒翁となるのだから妙である。今年も螢雪の励みの果、受験生が達磨と対面する季節となった。果して喜びの二ツ目を入れることになったことか、捲土重来の辛抱を誓う破目となったか。

この辛抱こそ達磨大師の唱導する「忍辱」の婆羅密、苦に耐える実践訓だ。当節とかく難を躲し、易きに傾き、自己錬磨を蔑ろにする「忍辱なき」学徒が横行している。辛さを嫌えば己に甘くなり、自我本能を抑え難くなる。学園暴力や怠学の根は己を律せられなくなった忘忍辱にある。苦を超え、夢に挑む若者ならではの不屈の精神にたちかえり、不倒翁に学ぼう

としないうちに、希望の彼岸は無い。(水)

第二の故郷



鈴木 博判

家族が私の赴任地、香港の啓徳空港に着いたのは五十一年の二月十四日でした。以来五年間、妻と三人の子どもは香港を生活の場としていたことになり、当時小学校三年生、一年生および生徒後一年であった娘達にとり香港は全く別世界であり、また忘れられない第二の故郷となったことと信じております。

狭い土地に五百万人の人口を包含し、年間二百万人以上のツーリストが訪れるこの国際都市・香港は、静かな現住地・奈良とは好対照を示しております。それだけに香港における五年間の生活は子ども達の心に強い印象を刻み込み、彼女達それぞれが人生のダイアリーに思い出多き一頁を加えることになったと確信しております。

幸いにして上二人の子どもは直ちに香港日本人学校のお世話になり、長女は中学部二年、次女は小学部卒業、三女は幼稚園を終了することができました。香港という狭い土地柄、日本人学校にも運動場がなく、体育の時間、あるいは年一度の運動会も学校から離れた公共のグラウンドを借りなければならなかったこと、家に帰っても適当な遊び場所がないなど、不自由な面も多かったことは事実で

す。このような環境下で、子ども達の健康保持のためにもテニス、水泳、ハイキングなどにもできるだけ参加させました。香港日本人学校が伝統として誇る合奏隊にも加わることができたことも楽しい。香港の学校生活の一コマであったでしょう。

香港日本人学校は、幼稚園から中学部まで一三〇〇〜一三〇〇人の生徒が同じ校舎で学び、年々増加する生徒数を受け入れる必要から毎年教室の不足に悩まされています。しかしスクールバスを利用した登下校、課外活動を含む学校生活は学校の先生方、学校関係者および父兄の努力により、多少の不自由さはあっても満足のゆく運営がなされてきたと信じております。三人の子どもが香港日本人学校で大変お世話になったことに感謝しております。

長女、次女の場合、外国語の学習という点では機会が少なく残念ですが、人種のルツボと言われる香港で中国人をはじめとする外国人の生活に触れ、日本では経験できない何かを感じとってこれただけでも子ども達にとってすばらしいチャンスであったと信じております。帰国後直ちに環境は一変し、受験勉強、受験勉強と振り回されている昨今の生活との差をどう受け止めているのでしょうか。

一番下の娘は二歳半で英国人のブライベート・ナーサリーに通い、英語を自然と身につけることができました。しかし、日本のことを知らずに育ち、帰国と同時に小学校に入學したということでは環境への適応性の面で少し時間がかかっているように感じます。そのバックグラウンドにはかなりの差があるのは当然です。

平均三年ぐらいの滞在期間で常に流動している日本人学校の生徒の心の中には、悲喜こももも感情が常に去来しています。親しくなった友達と

心、自己向上への本人の自覚・意欲が芽生える時の活力を蓄えるためにもいわば自由放任的に見守ってきた時期に、日本人学校という好環境を得られ、今振り返って誠に恵まれていたと痛感しております。

最後にマニラで活躍されている皆さま方のご健康と、意義ある初等教育をいただいたマニラ日本人学校のご発展を切にお祈り申し上げます。
(三菱商事・企画業務担当役員付)

父母会での会話



芹沢 正行

「ジョウはおとなしく、協調性があつて、なかなか良い子のように思えます。多少引つ込み思案な面はありますが、言葉の問題もあるし、この点は徐々に慣れると思うので心配はいりません。」

「それ聞いて安心しました。」

「一つだけ不満に思っていることがあります。」

「何でしょう。」

「スペリング・テストが良くありません。初めのうちは、ヒアリングの問題もあるし、と思つていたので、ショウより後から入學してきたヒロキにも抜かれてしまつています。家で勉強を見てあげていますか?」

「ワイフに任せておりますが、日本語の勉強にウエイトがかかり、英語の方はほとんどやらないようです。アメリカにはあと、一年ぐらいし

は短い期間で別れなければならない。子ども達も親迎、送別の一喜一憂を常に味わっていたようです。

帰国後早くも一年が過ぎようとしています。子ども達は日本の学校生活に溶け込もうと懸命に努力しております。折にふれ香港の生活を、友達を思い出しては懐かしく話しております。マカオ、広東への修学旅行、運動会、友達、先生のこと、煌々香港の夜景、レパルス・ベイ、あの道、この街角、中国料理……話す日は輝き、現実からの瞬時の逃避に浸っているようです。
(ミノルタカメラ・貿易部)

日本人学校万歳



吉川 幸男

昨年五月、四年半の常夏のマニラ生活を終え帰国してはや半年余、四季の移ろいに追いまくられるがごとく、やれ「あの夏物はどこ?」それ「冬仕度にかからねば」、と家族ともどもめまぐるしい生活の中で、子ども達はさしたる支障もなく、中学一年と小学四年の日本の学校生活にもスムーズになじんできているようで、ホッと安堵し胸をなでおろしました。もっとも、幸いなことに、終始日本人学校での日本語による生活が基盤となつて、内地と同等の学校教育を授かったことを思えば、けだし当然のことかもしれませぬ。

かない予定なので、英語をやってもあまり意味がないという考え方なのですが、私も反対はしていません。」

「日本人の中には、そういう考え方の人も結構いることは私も知っています。ある意味ではやむを得ない面もあると思います。しかし、この学校にいる限り、たとえ一年以内に帰国するとしても、英語の勉強は、きちんとやらせて下さい。」

「低学年の場合、英語を一生懸命に覚えても、帰国後、半年もしないうちに大半を忘れてしまふという話も積極的になれない原因になっていきますが……。」

「その気持ちは良く分かります。恐らくその話は現実でしょう。しかし、私のポイントには、単にスペリング・テストで良い点数をとって欲しいことではなく、中途半端な勉強の仕方は、いけないということなのです。今までに、何人もの日本人の子を教えました。英語のテストが良かった子は、日本に帰っても、キャッチ・アップが早く、トップ・クラスになるのに、一年はかからないというのが通例だと聞いています。」

現在、置かれた環境の中でベストを尽くすというマナーを植えつけてやることは、大切なことです。英語は忘れても、マナーは万国共通ですから忘れませぬ。」

「……」

「それから、勉強をワイフに任せつつ放しにすることも、賛成できません。毎週金曜日にテストをやりますので、木曜日の晩か、金曜の朝に、ぜひ十五分結構です。だから見てあげて下さい。ショウのやる気も、グッと違つて来るはずですよ。」

「分かりました。とに角、おっしゃる方向で、頑張つてみます。」

(日本長期信用銀行・国際部)

文部省、新たに中学部を指定

ハンブルグ日本人学校ほか三校

文部省では、去る二月六日付け文部省告示十七号をもって、左記のとおりハンブルグ日本人学校ほか三校に対して、学

名	称	所	在	地
ハンブルグ日本人学校	ドイツ連邦共和国	ハンブルグ		
台中日本人学校	台湾	台中		
メダン日本人学校	インドネシア	メダン		
ベロ・オリゾンテ日本人学校	ブラジル	ベロ・オリゾンテ		

京都大学法学部

特別選抜で帰国子女15名が合格

国立大学(四月入学)では初めて帰国子女に対し門戸を開くこととなった京都大学法学部(道田信一郎学部長)では、昭和五十七年度より国際バカロレア資格を取得した帰国子女らに対し一般生とは別途に受け入れる特別選抜制度としてスタートすることとなったが、ことほど、その初年度の入学選抜を実施、同選抜の合格者の発表が去る一月二十二日行われた。発表された合格者は一五名(男七名、女八名)で、いずれも帰国子女。

高等学校入学資格文部大臣指定日本人学校一覧

日本人学校名	指定年月日	日本人学校名	指定年月日
1 ジョヤカール	昭和48年4月23日	38 ジョロアミ	昭和52年2月25日
2 シンガポール	昭和48年4月23日	39 コボ	昭和52年2月25日
3 パンナム	昭和47年2月10日	40 ニベ	昭和52年2月25日
4 台北	昭和47年2月10日	41 ナッ	昭和52年2月25日
5 クアラ・ランブール	昭和47年2月10日	42 ヲン	昭和52年2月25日
6 アラ・ランブール	昭和47年2月10日	43 カク	昭和52年2月25日
7 香港	昭和47年2月10日	44 ニュー	昭和52年2月25日
8 エノス・アイレス	昭和47年2月10日	45 フラ	昭和52年2月25日
9 サン・パウロ	昭和47年2月10日	46 テカ	昭和52年2月25日
10 メリキ	昭和47年2月10日	47 ボゴ	昭和52年2月25日
11 モンテシ	昭和47年2月10日	48 アバ	昭和52年2月25日
12 デュッセル	昭和47年2月10日	49 カル	昭和52年2月25日
13 シェル	昭和47年2月10日	50 ニュー	昭和52年2月25日
14 シェル	昭和47年2月10日	51 ラ	昭和52年2月25日
15 シェル	昭和47年2月10日	52 カ	昭和52年2月25日
16 ベイ	昭和47年2月10日	53 アウ	昭和52年2月25日
17 リオ・デ・ジャネイロ	昭和48年4月23日	54 フ	昭和52年2月25日
18 サウゴ	昭和48年4月23日	55 ブ	昭和52年2月25日
19 ソン	昭和48年4月23日	56 ラ	昭和52年2月25日
20 高	昭和48年4月23日	57 オ	昭和52年2月25日
21 パス・バル	昭和48年4月23日	58 グ	昭和52年2月25日
22 ラス・バル	昭和48年4月23日	59 ラ	昭和52年2月25日
23 ナハネ	昭和48年4月23日	60 ド	昭和52年2月25日
24 ラハネ	昭和48年4月23日	61 ア	昭和52年2月25日
25 ヨハネ	昭和48年4月23日	62 ス	昭和52年2月25日
26 立教英学院	昭和50年12月22日	63 ヲ	昭和52年2月25日
27 カル	昭和50年12月22日	64 ヲ	昭和52年2月25日
28 ウル	昭和50年12月22日	65 ヲ	昭和52年2月25日
29 ク	昭和50年12月22日	66 ヲ	昭和52年2月25日
30 カ	昭和50年12月22日	67 ヲ	昭和52年2月25日
31 サ	昭和50年12月22日	68 ヲ	昭和52年2月25日
32 パ	昭和50年12月22日	69 ヲ	昭和52年2月25日
33 ラ	昭和50年12月22日	70 ヲ	昭和52年2月25日
34 ベ	昭和50年12月22日		

昭和五十七年度

派遣教員事前研修会開催さる

昭和五十七年度在外教育施設派遣教員内定者研修会が、去る二月二日(火)から七日間の日程で国立教育会館筑波分館を主会場として、既設日本人学校(六五校、三一七名)、新設日本人学校(二校、八名)および補習授業校(一一校、一二名)への派遣内定者三三七七名を対象に、参加者全員泊り込みにより実施された。

外務省・領事第一課長の交替

外務省では、去る二月一日付人事異動により、大臣官房領事移任部領事第一課

各地の動き

「恵まれない子ども達へ愛の手を」運動

春日協会学校(バンコク日本人学校)メナム児童会・生徒会では、昨年十月十九日より二十四日までの一週間にわたり、全

海外子女教育ニュース

長杉野明氏が、在連合王国大使館参事官として転出し、新領事第一課長として、

小西芳三氏(前国際連合局企画調整課長)が就任した。

第27回青少年読書感想文全国コンクール

海外校より二名が見事入選

全国図書館協議会と毎日新聞社共催により毎年行われている青少年読書感想文全国コンクールは、今回で第二十七回を数えるが、本年も全国より三百二十三万余の作品を集めて盛大に催された。

このコンクールへの海外からの参加は毎年、勸海外子女教育振興財団が窓口となっており、本年は十七か国、二十二校から六二七名の応募があった。これらの作品について、例年のおり本財団において前後二回にわたる予備審査の上、主催者における全国審査にかけられたが、昨年末より行われた同審査の結果、ニューヨーク補習授業校小学二

校の児童・生徒に呼びかけ「タイの恵まれない子ども達へ愛の手を」運動を実施した。同校では、五十四年は「カンボジア難民へ愛の手を」の運動を、また五十五年は「タイの恵まれない子ども達へ愛の手を」の運動を実施し、どちらも多大の成果をあげている。

本年度は、前年に引き続き、再度バンコク近県にあるソントアという薄幸の子どものために、援助活動となった。ノントアブリの施設は、タイ国内唯一の政府管轄の重度心身障害児収容の施設であり、タイ国内の各地から集まった重度の精神的・身体的障害を持つ子ども達が収容されている。その多くが両親に捨てられた子どもたちであり、また、平均寿命十八歳という薄幸の子どもたちで、あ

お国がら

ベネズエラは有数の石油産出国で、オペック(OPEC)の中でも有力国の一つである。面積は日本の約二・五倍、人口約一千五百万人。人種構成はインディオとイベリア半島を中心とするヨーロッパ人と黒人との幾重もの混血人種からなるが、他国におけるような人種差別は見られない。経済的には自由資本主義国家として、民主政権のもとに、生活は比較的安定している。

ベネズエラ各地の気候については、高度が決定的な要因となっていて、車で五時間ばかりの距離の間に、雪のあるアンデス山系支脈の高峰あり、サボテンの生える乾燥地帯あり、緑のみずみずしい草原地帯ありという具合だ。カラカスは平均海拔九百六十呎、昼間気温二十度から二十七度で、日中はかなり暑いが、湿度は比較的低いので日本の夏よりは格段に過ごしやすい。はっきり区分できる四季はないが、一応、十一月から四月までを乾期とし、五月以降を雨期としている。四、五月は

いろいろな木々が花を咲かせ、マンガローが若葉を茂らせ、時期に応じてそれなりの季節の変化を楽しめる。年中、豊かな農作物や果実などに恵まれ、人々は常に「アスタマニアーナ(また、あした)」と、おおらかにあせらず、音楽を楽しみ、陽気に生活をエンジョイしている。

今月の特集

カラカス日本人学校

日本人学校シリーズ

学校近況

新校舎にて

一九八一年九月一日は、カラカス日本人学校にとっては六年前の実質的な開校につぐ大きな、そして記念すべき日となりました。カラカスの郊外二十五のアーティ

ジョの地に鉄筋三階建て(一部四階建て)の新校舎において初の授業が行われた日です。授業といっても第二学期の始業式が行われたのですが、明るい教室、広い廊下や階段、運動場には階段式の観覧席まで設けられ、図書室を始め理科、図工科などの特別教室もぬか

りなく設置されており、子どもたちは今までの借家から一挙に自分たちの家に住むことになり、顔も明るく態度にも伸びのびとしたものが感じられるようになりました。

長くなったけれどそのマイナス分をいやしてなお余りある程です。つい先日(十二月五日)には新校舎における初の運動会が行われ、児童・生徒はもちろん多数の父母や在留日本人の方々が参加して楽しい一日をすごしました。現地のベネズエラの方々の中にも参加する

人もあり、生まれて始めて日本流の運動会を楽しんでいたようです。近々学習発表会や現地校との交流行事も予定されています。このような行事にはいつも中学部の生徒が非常な力を発揮してくれま

お正月近くになり恒例のモチつき大会が行われます。老朽化したうすにかわって篤志の方からいただいた日本製の木のうすは、近ごろでは内地でさえもそう簡単にはお目にかかれない貴重品だと思

五月……遠足
新入生の歓迎をかねた楽しい一日。遠足とはいいながら、スクールバスで学校から二十〜三十分離れた公園へ行く。帰りのバスの中でもまだ大はしゃぎの元気な子ども多い。

全校でのマラソン大会

も上級学年の責任をもたされて少しかわいそうな気がします。これも一つの大事な勉強だと思

行事中心に学校の近況をお知らせしましたが、今年はまだなく一名の派遣教員のうち約半数の五名の先生が帰国されます。新しい先生が来られてなれるまで、残ったものががんばらなくてはと思っています。

六月……弁論大会
高学年は弁論、低学年は本読み、クラス代表は大はりきり。みんな堂々たる話しぶり。



最近、学校として大変困っていることは水の問題です。もともと南米は水の天恵の少ないところで水道の水といえどそのまま飲めないことが多く、学校での児童・生徒の飲料水は、一般家庭と同じく大型ビンに入れたものを別に買

子ども達は楽しい学校生活を送っている。したがって、土・日よりも学校のある日を好む。諸行事は、いっそう学校生活を楽しくさせる。その中でも、伸びのびと自己を表現でき、活動できる行事は最高らしい。

七月……小学生修学旅行
六年生は二泊三日の日程で、ベネズエラの油田都市・マラカイボへ出かける。親と離れて旅行できる子ども達は大喜び。見送る親は少々不安顔。

十一月……スケッチ大会
弁当持参で、遠足をかねた会である。見物人も多く、現地交流の絶好の場となる。作品は校内に展示される。

教師の記録

学校行事紹介

中水道管が破裂してしまい、断水が続いて掃除の水にも困るのでタンクローリーで毎日のように水を買っている始末です。修復工事もいつ始まるやらわからず頭の痛いことです。水のことを言えば、体育館ができたので、年中、使用できる体育施設としてのプールがほしいという声もチラホラ聞こえてきます。そうなれば水泳指導もで

そこで、本校の行事のうちで主なものを紹介する(儀式関係は除く)。

七月……校外学習
六年生の修学旅行中の一日。小一〜小五はバスで工場見学など、社会見学をする。

十二月……餅つき大会
PTAのお母さんのお世話で、小一から中三まで、一人ひとり、キネをふりあげ、力いっぱい。寒くない十二月。でもこの日だけは、日本のなつかしいお正月を思

出す。

一月……学校親善

現地校との交歓会。器楽演奏、剣道、空手などをひろうする。バレーボール、サッカーの試合をし、昼食を共にする。日本の字がめずらしく、サインをせがまれる。

二月……学習発表会

演劇を中心に、演奏、合唱などを加えた華やかな会である。親の拍手で子ども達も一段と熱が入る。

二月……文集作成

作文、詩を中心とする文集「カリベ」の発行。一人半頁から一頁に自分の気持ちを表現する。形としてあとに残るので、子どもの宝の一つである。

これからの課題

当面考えられること

本校は開校以来六年の歳月を経て、昨年九月、念願の新校舎が完成しました。これで名実ともに一人前の学校としての機能を有する条件が整った訳です。過去六年間、借り住まいであった学校生活を顧みれば、学校としての機能を十分に果たすには困難な面が多かったと言えます。しかし、これらの環境の中にあっても学校運営関係者や教職員による創意工夫や努力に

二年生のスペイン語の授業



よって、それを完全に克服し、成果を上げて来ました。

さて、新校舎が完成した現在、過去の実績を生かしながらさらに内外の充実発展を推進して行かなければならない多くの課題をかかえています。以下、その一部を列記してみましよう。

- 特色を生かしたカリキュラムの編成
- 他の日本人学校にも例をみるように、本校も送迎バスによる登下校を行っております。したがって下校は定められた時間に一斉に行われます。この限られた時間の中で文部省の指導要領に示された内容を土台にし、さらに本校独自の

特色ある学習内容を組み入れて行くことです。

例えば、小学部においてはスペイン語を週二時間、初級グループと上級グループに分け、内容は会話を中心に置いて進められています。中学部においては、スペイン語はもちろん、英会話の授業ももうけ大きな成果を上げています。しかし、この方法にもまだ検討の余地が多くあるということです。

○現地校との交流を深めること

移転前の校舎では条件が整わなかったため、一方的に日本人学校より児童・生徒が訪問し交流を持ったのですが、今後は相互に訪問し合うことができるようになりまし。これからは、そのためのより良い方法を考え計画して行かなければなりません。しかしながら現在、ベネズエラでの日本人学校のステータスは、当国の新教育法によってかなりの規制を受けざるを得ないという難点をかかえています。

- 教材・教具の整備充実をはかる
- せまいながらも一応の校庭をもち、また校舎も完成したところで今後内容の充実も大切なこととなります。移転前の校舎は狭いとい

このように、カラカスは山に囲まれた小さな盆地ですが、市をとりまく山々には「ランチョ」と呼ばれる貧民街があります。夜になると山全体が電燈の明りでも美しくかがやきます。しかし、昼間見ると、どこから家にとどりつくのかと思うようながけの上に、くずれかけたような家が建ちならんでいます。こんな所にたくさんの人達が生活しているのです。ここに住む人のことを思うと何ともいえないさみしい気持ちになります。その反対に豊かな生活をしている人達は自家用飛行機を持ち、週末にはマイアミの別荘へ行くという日本人の私には想像もできないような生活をしているのです。

石油の国、ベネズエラですが、富が公平に行きわたっていないのです。ランチョに住む人達にどろぼうやひったくりが多いのもなんとなくわかるような気がします。今の日本にはこれほどひどい貧富の差はないでしょう。ここへ来て私は初めて貧富の差を実際に見ました。

そしてランチョの明りが幸せの灯になる時が早くくる様に祈らずにはいられません。私は総ての人々が人間らしく生

児童・生徒の目

作文 2 題

僕たちの学校

中三 矢島秀樹

僕がこの学校を好きなのは、主な理由が二つある。

一つは、児童・生徒、先生方やPTAの人達が丸となって学校をよくしようとしていること。例えば、スクールバスの問題などで

きる権利を保障されている国、日本の良さを知るとともに、日本人としてはずかしくない行動をしなければならぬと思っています。

校長室から

校長室の窓から



北出 嘉一

戦中戦後を通じて熱帯の空がどのようなものであるかとつくにご存知の方も多いことと思います。無数の積乱雲が紺碧の空を背景に、強烈なコントラストを描く様は、実に雄大で熱帯ならではの感があります。窓からこの空を眺めては時おり日本の真夏の入道雲を思い人々を思い、果ては故郷の山河にまでその思いが至り、暫時われ遠くに来たれりの感慨に耽ります。

赴任以来十か月、広い外国の都市の中にポツンと日本人だけの学校が息づいている。それが世界中では七十にも達していることを知ればやはり何事か思わざるを得ません。澄んで高い子ども達の声に

カラカス日本人学校

(昭和56年12月15日現在)

設立年月日	昭和50年11月1日	校長名	北出嘉一
設置者	在カラカス在外邦人	運営主体	カラカス日本人学校理事会
学校のステータス	未公認(在ベネズエラ日本国大使館附属)	運営責任者	加藤保弥(住友商事)
学校所在地	Carretera Union Parcelamiento Juan Garcia, "El Otro Lado Al Sur Del Hatillo" Parcela N° 5, El Hatillo EDO. Miranda TEL. 961-12-44		

●学校理事会●

担当	氏名	所属	担当	氏名	所属
理事長	加藤保弥	住友商事	理事	高橋馨根	住友海上火災保険
副理事長	植田卓治	日商岩井	"	香山徳二	伊藤忠商事
理事	金田謙二	三菱商事	"	武居能全	ソニ
"	越野宣夫	J E T R O	"	山本勇	大使館
"	上野豊	三井物産	"	北出嘉一	日本人学校
"	山田建二	丸菱商事	"	小倉光夫	日本人会
"	大橋達夫	三菱商事			

●施設概要●

敷地面積	3,000㎡	校舎面積	772㎡	運動場面積	1,800㎡
教室その他	普通教室9、理科室、音楽室、図書室、図工室、校長室、職員室、保健室、事務室他				
校舎構造	鉄筋3階建て(一部4階)				
		附属施設	体育館		

●教職員一覧●

職名	氏名	出身	任期	職名	氏名	出身	任期
校長	北出嘉一	派遣(三重)	56.4~59.3	教諭	安村孝達	派遣(山口)	54.4~57.3
教頭	橋本貞夫	現採(東京)	50.10~57.3	非常勤 講師	中野俊子	現地採用	(英語・図工)
教諭	佐々木徹	派遣(東京)	54.4~57.3	時請 講師	エドワルド・オロスコ	"	(西語)
"	堺 慎子	"(栃木)	56.4~59.3	"	マイジェ・キシック	"	(")
"	斉藤賢一	"(福島)	54.4~57.3	運転手	ファン・デアス ゴンサーレス	"	
"	古高利男	"(東京)	"	"	アントニオ・A・ エルオンデス・M	"	
"	福永規	"(長崎)	55.4~58.3	"	フェデリコ・トーレス	"	
"	神谷稔	"(愛知)	56.4~59.3	"	ビクトル・トーレス	"	
"	赤坂英二	"(岡山)	54.4~57.3	管理人	ノルマン・トーレス	"	(雑務一般)
"	関森研二	"(奈良)	56.4~59.3	事務	マクリン・デ・ノリヤ	"	(事務一般)
"	杉山哲郎	"(岡山)	"	"	セルサ・デ・ロドリゲス	"	(")

●児童・生徒数●

学年	小学部						中学部				合計	
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3		計
男	7	10	3	5	11	6	42	5	4	4	13	55
女	8	11	12	6	7	3	47	6	4	1	11	58
計	15	21	15	11	18	9	89	11	8	5	24	113
学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	3	9

●週授業時数●

学年	科目										計		
	国語	社会	算数	理科	音楽	図・美	体・保	家・技	道徳	特活		英語	西会話
小学部	1	7	2	5	2	2	2	3			1	2	26
	2	7	2	5	2	2	2	3			1	2	26
	3	7	3	5	3	2	2	3			1	2	28
	4	7	3	5	3	2	2	3		1	1	2	29
	5	6	3	5	3	2	2	3	1	1	1	2	29
	6	6	3	5	3	2	2	3	1	1	1	2	29
中学部	1	5	5	4	4	1	1	2	1	1	4	1	(1) 30(31)
	2	5	5	4	4	1	1	2	1	1	4	1	(1) 30(31)
	3	5	5	4	4	1	1	2	1	1	4	1	(1) 30(31)

●学期・長期休業●

第一学期	4月10日～7月31日	一学期末休業	8月1日～8月31日
第二学期	9月1日～12月23日	二学期末休業	12月24日～1月6日
第三学期	1月7日～3月15日	三学期末休業	3月16日～4月9日

●父兄負担経費●

費目	小・中学部	備考	費目	小・中学部	備考
入学金	5,000円	第2子以下 2,500円	P T A 会費	1,250円	年3回学期毎徴収
新校舎設備費	15,000円	入学時	傷害保険	1,125円	年間
運営費(月額)	35,000円	納入金 20,000円 スクールバス 15,000円			

(1 Bs. = 50円)

ふとわれにかえり、校内に目を転ずれば大人の無用な感慨をよそに、日本の学校と何の変わりも感じないような屈託のない子ども達の顔・顔があります。

変りがないといえば、今年も運動会を十二月五日に開催しました。師走に入って運動会ができることは日本国内とは大いにちがっていることの一つでしょう。父兄はもちろん、在留日本人も多く参加してフェスティバルのような感じがいたしました。外国の人々にとってはプログラムの一つひとつが奇異の眼を向けるに十分であったと思われまます。ムカデ競走、紅白玉入れ、綱引き等々。でもよく統制のとれた規律ある行動には青い眼を見張らせたと思います。異なっただよ土の中に育った文化は異なっていて当然だと思えます。国際理解の教育を通じていかに異文化を理解し吸収させるか、また、いかに日本人の持つ文化を彼らにわかってもらおうか、現地校との交流行事を間近にして思いは学校自体のステイタスに及ぶ。

日本の教育課程を実施しながら在外校としての特色を生かした教育を、しかも限られた時間で行うことになれば必然的に特別なカリキュラムの構成が研究されなければ

ならないし、また届け出のみの未公認校とあれば現地校との交流においても当然配慮しなければならぬ点もあります。九月一日新校舎に移転以来、心配されたこの種の問題にも今のところ具体的には何一つあらわれていないし、治安も土地の警察が極めて好意的に協力してくれています。

外国の中であってその国の文化を十二分に教育しなければもったいないではないかとの意見も時折耳にしますが、日本人としての教育が確立され、日本の文化をしつかり身につけていく過程の中で異文化を比較し、長を採り短を捨てる態度が養われていくと思えます。極めてアンタゴニスティックな表現かもしれませんが、国際人とは正に日本人的、日本人だという考えを持ちます。

赴任後一か年、周囲の様子も少しずつわかってきた今日この頃、いろいろな問題が、先の積乱雲のように乱立してくると思えます。雲よ湧け！ という程の勇氣はないにしても、課せられた使命は駄馬に鞭打つても果たすべく努力しなければならぬと思いが、窓外に眼をやれば、今日もまたコバルトの空に真っ白な雲が：

：雄渾。

運営理事長として

次の目標へ向けて



加藤 保弥

南米の石油大国ベネズエラの首都・カラカスは、人口二百五十万、街には近代的高層建築が立ち並び、市内を縦横に走る高速道路には自動車が行き交っています。現在、建設中の地下鉄網が予定どおり一九八三年に完成すれば、街の様相はさらに一変し、南米一の高所得都市にふさわしいたたずまいとなることでしょう。

日本と当国との関係は、鉄鋼・機械類の輸入、石油・アルミ地金の輸出を中心に、最近とみに親密さを増してきており、これに伴い進出企業をはじめとする在留邦人の数も年々増加の一途をたどっています。

カラカス日本人学校は、これら在外邦人の切実な要望により、一九七五年十月、それまでの補習校を母体として生まれました。そして昨年九月には、関係各位の並々

ならぬご尽力によって、鉄筋コンクリート三階建ての立派な校舎と運動場が完成しました。現在、教員一五名、生徒一四四名、補習科生徒二〇名を数えています。

待望の新校舎への移転が終わった今、われわれの次の目標は、学校内容の一層の充実を図ることです。当国は、新興石油国の例にもれず一般物価水準が非常に高いため、学校経営において常に経済面で各方面に色々と無理をお願いする結果となり、恐縮している次第です。例えば、新校舎開設以来、学校用水の供給をスムーズにするため、学校のあるアティンジョ地区水道局担当者との話し合いに成功したと思ったら、今度は肝心の水道本管が破損し、毎日トラックを使って用水を補給するため、多額の支出を余儀なくされるとか、全く予想外の出来事が重なってきます。

しかし、幸い、日本政府、海外子女教育振興財団、進出企業、在住日本人会などの皆様の暖かい支援で、これらの諸問題も一つひとつ解決されていることは誠に喜ばしい限りです。今後とも、よりよい学校を目指して、微力を捧げたいとお願いいたしております。

(ベネズエラ住友商事社長)